

(様式第2号)

事業所名 グループホーム安心とどろき

## 目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 29年 5月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	No.2	○事業所と地域とのつきあい 地域行事には積極的に参加しており顔馴染みの関係性は徐々に構築できていように思われるが、地域課題の共有や具体的な実践、取り組み、評価ができていない。	地域課題を共有して、具体的な取り組みに繋げる。	①地域行事のリサーチと参加 ②地域貢献活動(ボランティア) ③地域ボランティア団体との交流 ④地域ケア会議等への参加 ⑤地域包括支援センター等との連携 12ヶ月
2	No.12	○就業環境の整備 職員個々の状況を把握し、やりがいや向上心を持って働けるように努めている。離職者もおらず、コミュニケーションも充実していると感じているが、もっと良くしていきたい。	職員一人一人がいきいきと仕事に取り組める環境作り	①個別の状況に沿ったシフト作成 ②食事会や娯楽交流の企画 ③個別の話し合いの場を設ける ④チームケア研修への参加 12ヶ月
3	No.13	○職員を育てる取り組み 評価者の技能やツール不足によって、仕事を通じた職員の育成が十分でない。結果、管理監督的立場の人材が育ちにくい環境にあり、サービスの向上を阻害している。	・評価者の技能向上 ・評価ツールの充実	①研修への参加 ②処遇改善加算(I)の実践 12ヶ月
4	No.35	○災害対策 夜間の避難訓練は想定のみ実施にとどまっている。 地震を想定した訓練や準備が具体的にない。	・夜間の避難訓練実施 ・消防団との連携 ・地震を想定した訓練と準備 ・災害マニュアルの充実	①他法人の取り組みを学ぶ ②被災地での実際を学ぶ ③地域・自治体と連携を図る 12ヶ月
5	No.40	○食事を楽しむことのできる支援 ご利用者の好みや希望に沿って、食事が楽しめるようになる取り組みが不十分だと感じている。画一的になっていけないよう工夫していく必要がある。	ご利用者個々の希望に沿った取り組みを行い、楽しめる食事を提供する。	①イベントの企画 ②食べたい物(希望の品)と一緒に作る支援 ③個別外食の支援 12ヶ月